

研究紹介・新品種等の試食会の開催

～豊かで安全・安心な食の提供のために～

大分市消費者団体連絡協議会等の団体や公募による一般県民など130名の参加のもと、平成24年3月5日（月）13:00から大分文化会館において、農林水産研究指導センターの研究紹介及び当センターが開発した新品種等の試食会を開催しました。内容については下記のとおりです。

記

内容

- ・講演 「大分の食の安全性向上に向けて」
講師：センター研究指導顧問（元東大助教授） 林 浩昭 氏
- ・研究紹介
 - ①天敵などを利用した環境にやさしいピーマン栽培
 - ②家庭で味わうこだわりの地鶏「おおいた冠地どり」の開発
 - ③抗菌剤を使用しない魚類養殖への挑戦！
 - ④森林の恵みを食卓に！～日本一の乾しいたけ栽培～
- ・試食及び評価
 - イチゴ センターが開発した新品種「大分3号」と「さがほのか」
 - カンショ センターが栽培、貯蔵技術を確認した「甘太くん」と「高系14号」
 - 他に鉢物トルコギキョウや県産材を利用したベンチの評価



研究紹介



参加者



イチゴ試食



カンショ試食

参加者の声

・ 4 題の研究紹介ともとてもわかりやすく、消費者の安心・安全のために研究努力されていることを初めて詳しく知ることができました。ピーマン、冠地どり、養殖魚、シイタケ購入の際は今日のことを思い出し購入したいと思います。今日得た情報（知識）は周りの人たちに伝えていきたいと思います。有意義な会をありがとうございました。

・ 色々な立場の方が色々な研究をされていると感心しました。研究の一部でしたが知らないことが多く、今日は参加させていただき良かったです。またこういう機会を作ってもっともっとみなさんにPRした方が良いと思います。次回はまた違う研究者の方のお話を聞きたいです。

・ 大分県の農産・畜産・林産・水産等安心して大いに利用してます。現場見学もあるといいですね。

・ 地産地消が言われているが県産品は価格が高く、他県の魚や野菜を買ってます。魚、肉はもちろん安全・安心・価格安を提供してほしい。研究紹介の発表に終わらず、県民が手軽に買えるよう指導ください。